

1 学期を振り返る

(年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、課題等)

平成24年度のテーマ

あきらめない・ごまかさない・低きに流れない

平成24年度の重点目標

1 安心・安全な学校（物理的・心理的な安心・安全な環境整備）

施設・設備の点検、生徒・職員の健康・事件事故の防止・適切な対応、
いじめ・暴力を見逃さない、相談・面談による生徒理解、協働関係

2 生徒指導の充実（気にかける・声をかける・手間をかける）

挨拶・時間・身だしなみ・清掃の徹底、ルールを守るからマナーの向上へ

3 実態に即した基礎基本の学力の定着と向上

授業秩序の確立 授業のルール（チャイム着席、起立・礼、態度）の徹底
学習の基本の徹底（ノート、提出物、発表等）
成績不振者の意識改善、学力上位者へのフォロー対策
教科、学年連携の授業観察や授業研究等チームを組んで生徒の実態把握と改善を
若手教員の育成と支援

4 組織的・計画的な進路指導（見える進路・あきらめない進路）

入学時から、全ての場面、全ての活動が進路に繋がる指導であることを意識
保護者への啓発、企業開拓、学校訪問等による教職員の情報拡大

5 保護者・地域との相互協力による教育力の向上

地域への学校施設の開放、開放講座、公開授業や学校評価アンケートへの協力
地域の中・小学校との連携による授業公開、授業研究
保護者の活動の活性化、学校教育への参画を促す

6 入学志願者の確保

中学校訪問（入学した生徒の情報交換、学校説明）、出前講座、
進路説明会への参加
中学生・保護者の見学、本校主催説明会への参加を促す

＊ 組織的に、チーム向陽であたる

＊ 連絡、相談、報告確認の情報の流れを意識する。教育活動のすべてに危機管理意識を

入学した生徒を、少しでも向上させて卒業させることが信頼に応えること

総務部

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

1. 式典の円滑な運営を目指す。
 - ・少しずつだが、整然とした式典になってきた。
2. P T A活動が円滑に運営されることを積極的に支援する。
 - ・P T Aとのコミュニケーションがとれ、積極的な活動になってきた。
3. 学校案内・要覧等の資料を創意工夫して作成する。
 - ・学校案内、要覧に、新しく「福祉コース」、「新カリキュラム」を取り入れ、内容の配置等、工夫してできあがった。

＜課題、2学期に向けて＞

- ・さらに整然とした式典となるよう、生徒達に働きかけたい。
- ・卒業式の要項を作成し、検討する。
- ・松戸地区P T A発表を滞りなく行う。
- ・同窓会総会を滞りなく行う。
- ・各委員会の活動（登下校指導、文化祭、研修旅行、広報誌発行）を滞りなく行う。

教務部

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

1. 基礎基本の学力の定着・向上とわかる授業の実現

- ・非常に難しい目標だが、各教科とも、かなり工夫・努力をしていると思う。
- ・「学び直し」について、今一度、各教科で話し合うべきである。達成目標や方法などと、学校としての基準を決めておくべきだ。
- ・教務、学年の先生と連携し、授業時間数の確保ができた。
- ・調整したおかげで、中間までの授業日数と、期末までの日数に大きな差はなかった。「学び直し」については、教科はもちろん、学校全体として、どういう指導をするのか（学力向上を目指すのか、達成目標）、統一した目標を確認すべきだ。
- ・福祉教養科の授業時数確保については、各学年、分掌から協力をいただき、1学期間のノルマは達成できた。

2. 個に即した学習・教科指導の実現

- ・初めての考査だったので、わからないことばかりで少し不安だったが、先輩の方が様々なことを教えてくれた。おかげで、自分のkしごとをこなすことができた。しかし、まだまだ手の届かない部分もたくさんあるので、もっと頑張りたい。
- ・評価方法を見直すべきとの意見がでた。今後検討すべき課題である。
- ・成績不振者に対し、個人票を作成し、担任がその状況を把握することによって、よりの確な個別指導ができようになった。

3. 業務内容の円滑化

- ・大きな課題である。部員の入れ替えも多く、引継等、検討すべきことが多かった。一方、部員同士の連絡が密に進めることができた部分もあり評価したい。
- ・朝会日誌の記録、引継を確実に行った。時間割作成の際、なるべく無理がなく、教科によって偏りがないように心がけた。任された仕事は期日までに終わらせた。
- ・朝会日誌や自習監督の割り振りなど、他の先生方に迷惑をかけないようにがんばった。

- ・1日体験入学の実施に向けて、各分掌と協力して準備を進めている。

4. 業務内容の明文化

- ・仕事分担が明確で適切だったので、働きやすかった。教務部の経験のない若手が、進んで仕事に取り組んで、動いてくれた。
- ・業務を明確にし、それぞれが自己の責任を自覚できた。

<課題、2学期に向けて>

- ・成績処理等、図書情報部とともに仕事を進められるようにしておいた方がよい。
- ・成績処理では、多くの先生に迷惑をかけたので、正確に、円滑に進むようにする。
- ・他の分掌と連携できるところは、連携して行う。たとえば、保護者あて文書を送る際のデータを、総務部は、図書情報部、学年に渡す。図書情報部は、システムを作成して学年に渡す。
- ・入学者選抜業務を早めに行う。説明会等の準備と並行して要項作成などを行わないと、スケジュール的に厳しい。
- ・入学者選抜の準備をいかにするか。選抜基準、要項。
- ・1学期は、他の先生に頼ってしまった。2学期からは、自分の力でなるべく仕事をこなせるように、どんどん仕事を覚えていきたい。
- ・日常業務の高速化。
- ・チャイム設定を確実に言い、授業時間を正確に伝える。成績処理関係の仕事についての知識を身につけ、トラブルがあったときに、素早く対応できるようにする。
- ・確かに、言われてから動くことが多かったので、2学期からは、自分でやるべきことを見つけられるようにしたい。1学期を終えて、教務の仕事にも少し慣れてきたと思うので、効率よく仕事をこなす、余裕をもてるようにしたいと思う。1学期はミスが多く、たくさんの先生に迷惑をかけたので、1つ1つ確認をしながら作業を進めていくようにしたい。
- ・授業時数確保のため、今後も、教務、学年、総務の連携を強化していきたい。
- ・1学期は、業務を終えることばかりで、まわりがみえなかったので、指示等ができるように、業務内容を記録していきたい。
- ・部員の若手化は大いに歓迎するが、毎年メンバーが替わると、せっかく教えたこと、覚えたことが次年度に生かされなくなる。できるだけ若手は、同じメンバーを確保すべき。2学期末から3学期にかけて、学検事務や新年度の準備があるので、早めに手を打つべきだ。
- ・学校説明会の実施に向けての円滑な準備。
- ・成績不振者の個人票の評価。
- ・入学者選抜に向けての円滑な準備。
- ・確実な授業時間の確保（特に福祉教養科）、。

進路指導部

<年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等>

1. 「見える進路」（生徒も職員も見通しをもって活動できる進路）を目指す。

- ・現在3年間を通した進路指導計画を作成中である。夏季休業中に原案を作成し、進路指導部において検討をしたい。またそのエビデンスとして9月4日に行われ

る1, 2年生対象の基礎力診断テストの第4限における進路意識調査や学校独自質問を活用したいと考えている。

- ・生徒に対しては学年集会などを利用して、欠席・遅刻などをしないように呼びかけを行っている。
- ・職員に対しては、職務負担の均等化を目指して、各学年から調査書の作成に関わる業務の分担を予定している。また第3学年職員に対しては、大学・短大、専門学校、就職希望の覚醒と向けのマニュアルを作成して配付した。
- ・進路指導部内においては、組織として動けるよう分掌内の整備に努め、夏季休業中は日々の業務を引継簿に記載し、翌日の担当者がスムーズに仕事をできるようにした。

2. 「あきらめない進路」(最後まで支援する進路)を目指す

- ・学年就職希望者に対しては、2学期以降ハローワークとの連携を深めて、企業に直接生徒の就職をお願いする制度を昨年以上に活用することを計画している。
- ・また、進路未定者に対しては安易に流れてフリーターにならないよう、3年進路指導部員を中心に個別に生徒に働きかけなどを行い、進路状況を確認するようにしている。

3. 社会人としてふさわしい学力・態度の指導を一層充実させる

- ・就職希望者を対象に毎週1回補習を始めた。出席者は毎回10～20名程度であった。
- ・1学期中は四則演算、分数計算、単位の変換(長さ・面積・体積・質量)、濃度計算を行ったが、3年生からでは遅すぎる。また就職希望以外の生徒も参加していたが、やはり学力不足は否めない。

＜課題、2学期に向けて＞

新規に取り組むこととしては以下のことを予定している。

- ・3年間を見通した進路指導計画を作成する。特に1年次から基礎学力の充実と出欠状況の改善を目指し、生徒に自覚させ、主体的に自分自身の進路に取り組めるような形にしたい。
- ・生徒の学力を把握し、全職員で共有できないか検討している。
- ・2年次後半から就職補習ができないか検討している。
- ・調査書などのデータの管理作成の組織化及びバックアップの充実の強化を図る。
- ・進路のしおりの改訂版を作成する。

生徒指導部

1. 教員の指導に従う体制づくり
2. 時間やルールを守る
3. 良識ある生活態度、礼儀

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

- ・特別指導の件数が減少した。
- ・苦情の件数が減少した。

＜課題、2学期に向けて＞

- ・駐輪場での悪質ないたずらや自転車盗難防止。
- ・登下校時の変質者からの被害防止(不審者をみたら110番)

- ・部活動の事故防止。
- ・文化祭，体育祭での事故防止。
- ・安易な遅刻，欠席の防止。基本的生活習慣の見直し。
- ・事故に遭ったときの報告の徹底。

環境健康部

1. 校舎内外の美化に努め，安心・安全な学習環境をつくる。
2. 美化委員会活動を活性化させ，全校生徒に美化意識の向上を図る。
3. 防災訓練をとおして，防災や危機管理についての意識を高める。
4. 健康診断を確実に実施し，保健指導，健康保持の指導を充実する。
5. 組織的な取組により，教育相談機能の向上を図る。

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと，よかったこと等＞

- ・部員全員で，校舎内の美化に努めた。3つの環境倉庫の整備を完了した。
- ・健康診断等の行事に協力し，スムーズに実施できた。
- ・学年や進路指導部と協力して，学生支援機構の予約奨学金業務を滞りなく行うことができた。
- ・新しく配置されたスクールカウンセラーと，生徒，職員とのつなぎ役として，順調に横断活動をスタートさせることができた。

＜課題，2学期に向けて＞

- ・校舎外の有価物の処理を行う。
- ・10月の教育相談職員研修の準備と実施要項を作成する。

図書情報部

1. 様々な場面での生徒への読書の指導と，教科に結びついた利用しやすい図書館を目指す。）
2. 視聴覚県警の施設，設備の拡充を目指す。
3. 情報関係の内規の整備，及び，情報機器の把握と整備を目指す。

（図書関係）

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと，よかったこと等＞

- ・『向陽としょかん通信』の「新着図書案内」や「司書のおすすめ本」をみて，本を借りに来る生徒（親から頼まれて借りに来る生徒を含む）が増えた。
- ・課題学習用に借り受けた他校図書館資料のなかから，本校蔵書に加えたい資料を選考し，今後の授業に備え購入することができた
- ・絵本の読み聞かせ講習会は，生徒・職員から好評だった。

＜課題，2学期に向けて＞

- ・生徒によるすすめ本紹介「向陽と s h かん読書まつり」や「図書委員会新聞の発行」の機会を増やし，活発化させていきたい。

（情報関係）

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと，よかったこと等＞

- ・昨年度，県から配付されたノートパソコンは，徐々に活用されつつある。
- ・校内の情報機器の掌握。・管理に向けて，台帳をつくりつつある。

＜課題，2学期に向けて＞

- ・生徒等の情報の一括管理の方向性を打ち出したい。

- ・成績処理等の業務は、現在教務と連携して行っているが、図書情報部が中心となって行った方がよいと思う。
- ・グラウンドを使用する行事で使用する放送機器は不十分である。

（視聴覚関係）

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

- ・視聴覚機器、機材の整備、把握が進んだことと行事等における運用が的確にできた。管理面でも、機材の整理が進んだ。

＜課題、2学期に向けて＞

- ・備品の整理がまだまだの部分があるので、行事の重なる2学期に向けて整備していきたい（体育祭用のアンプなど）。

1 学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、「知、徳、体」の調和のとれた誠実な生徒を育成する。

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

- ・しっかりとした態度で、授業に臨む姿勢の定着。
十分とはいえないが、授業は成り立っている。
若干のさぼりもあったが、さぼり以降の姿勢は良好である。
- ・1つ1つの目標に対しては、中々合格点とはならないが、各担任が、親と密に連絡をとってくれており、大きな問題に発展することもなかった、

＜課題、2学期に向けて＞

- ・もっとも懸念されることは、夏休みを経て、生活習慣の変化、人間関係の変化・・・等が、どう影響してくるかだと思う。
- ・「毎日登校し、6時間、7時間を過ごす」という、レベルは低いですが、これがきちんとできるようにしていくことが、最大の課題である。
- ・最大の行事である文化祭でのぶつかりあい、クラスをまとめることにつなげられるかも課題である。

2 学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、「知、徳、体」の調和のとれた誠実な生徒を育成する。

＜1学期に達成できたこと、よかったこと等＞

- ・校外学習（浅草フォトアドベンチャー）は、天気にも恵まれ、生徒も積極的に活動し、修学旅行に向けて、よい校外学習、体験学習となった。
- ・赤ちゃんとふれあい体験で、生徒たちが、いい表情をみせてくれた。
- ・進路講演会をとおして、フリーターになることは、自分の人生の中で、不利になることを認識してくれたと思う。

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

- ・進路学習に力を入れ、事故の進路について考えを深めさせる。
- ・修学旅行の準備に、しっかりと取り組ませ、思い出に残る体験をさせる。

3 学年

「向学・自立・共生」の精神のもと、将来の進路を決定し、自信に満ちた姿で卒業式を迎えられる生徒を育てる。

＜年度当初に設定した目標に対して達成できたこと、よかったこと等＞

(1) 基本的生活習慣について

- ・ 2 年次に引き続き同様の方式で整容指導を実施したため、生徒も慣れておりほぼ順調に進んだ。但し、欠席が多い生徒の確認は遅れた。切ったスカートの取り上げも行い、約束を守るように指導した。
- ・ 欠席、遅刻、早退の数が昨年より改善した。ただし、相変わらず欠席、遅刻が多い生徒についての改善が難しかった。
- ・ 集会前などの服装指導は副担任として進んでできた。学年室当番のときは遅刻の生徒には声をかけ、「明日は遅刻しないように」など言うようにした。
- ・ 木曜日 6 限の「総合的な学習の時間」に「一般常識」のテキストを計画的に指導でき、夏休み中に残りを学習することを支持できたことがよかった。

(2) 基礎学力の定着と学習意欲の向上について

- ・ 授業は落ち着いて取り組めたと思う。課題の提出状況も思ったよりしっかりとしていた。
- ・ 早い段階で生徒と打ち解け合うことができ、その後は指導もしやすくなった。授業での反応もよく、
- ・ 授業の運びもスムーズにいった。
- ・ 総学では「基礎力ドリル」を使用した。よく取り組んでいる生徒もいたが、学力が低い生徒の基礎力定着は相変わらず難しい面があると感じた。

(3) 自己理解と進路決定について

- ・ 生徒から将来の相談をされたとき、私のわかる範囲で相談にのったり、アドバイスをすることができた。
- ・ 就職者の指導では、求人票公開の段階で生徒の意識が低く、取りかかりが遅く感じられたが、その後、生徒は取り組んでくれた。就職指導では、教員が協力的に動いておりほぼ計画通りに進行することができた。
- ・ 進路説明会で、2 回まとめてわかりやすく生徒に説明できた。
- ・ 進路情報や資料を生徒や担任に提供できた。
- ・ 夢や目標をしっかりとっている生徒は、積極的に行動できた。進学希望者も保護者とよく相談されていた。

(4) その他

- ・ 学年の美化委員（環境健康部）として普段目の届かない所もきれいにすることができた。

＜課題， 2 学期に向けて＞

- ・ 2 学期は就職試験があり、進学者も本格的なシーズンとなるため、進路指導に力を注いでいきたい。一方では高校生活最後の文化祭、体育祭が思い出ある行事になるよう、生徒にはたらきかけていきたい。
- ・ もっと積極的に生徒に生徒指導できるように努めていきたい。服装や時間の遵守等もう少し厳しく指導する。授業では、今の雰囲気壊さず、基礎学力の定着を目指し、授業を展開していく。年齢が近いぶん進路について親身に対応していき、よりよい進路選択ができるように後押ししていく。
- ・ 生活関係においては依然として課題が残る。だらしなさ（身だしなみや時間を守ることができない）や人間関係がうまくつくれず、グループごとに分裂して、グループ間の協力関係が作れないなど、3 年生として残念な部分が多い。進路決定においても主体的に動ける生徒が少なかった。来学期は、以上のような課題を踏まえて生徒を後押ししていきたいと思う。
- ・ 3 年生になっても授業への取り組み、考査に対する意識が低い生徒が見られる。2 学期には出席状況の改善を図りながら、授業に取り組む意識を身に付けさせたい。
- ・ 2 学期はもっと生徒とコミュニケーションを図り、相談しやすい教員になれるようにしたい。また、服装や遅刻指導も普段から積極的に行いたい。そして、若手なので周りに気を配り、どんどん仕事をしたいと思う。
- ・ 3 学年の移動授業の際、廊下で移動を促したりしてきたが、もう少し早く行動できるように生徒をしつけていかなければならないと感じた。しっかりした状態で授業を開始させたい。
- ・ 大学、専門学校を希望している生徒が夏休み中にしっかり学校見学し、志望校を固めてくれているか気がかりである。いずれにしても進学希望者は 2 学期早々に進学希望先を決定させ、準備をさせたい。
- ・ 指導結果や成果が目に見える形であらわれること。
- ・ 生徒へは、わかりやすくゆっくりと、何回も声かけや指導をしていきたい。
- ・ 女子の就職希望者が安易に自己開発を選んでいるので、その後が不安。進学者に対しては勉強する環境づくりを心がける。